

Smart-USB Plus / Smart-USB Sigma 製品ファミリ

**WinUSB.sys 汎用デバイスドライバ対応**

**SUP64.dll API 仕様**

**有限会社プライムシステムズ**

**2013.01.18 第 4.0 版**

2012.03.01 第 3.0 版

2011.12.28 第 2.0 版

2011.11.29 第 1.0 版

## SUP64\_OpenEx

---

任意の USB デバイスをオープンします。

※1 台のホスト PC に複数台のボードを接続している場合には、SUP64\_Find\_Device()または SUP64\_Get\_Device\_Handle()と SUP64\_Usb\_Open\_Handle()を組み合わせて使用してください。

```
BOOL SUP64_OpenEx(  
    GUID                guidDeviceInterface,  
    HANDLE              *FoundHandle,  
    PWINUSB_INTERFACE_HANDLE phWinUSBHandle,  
    );
```

### 【パラメータ】

guidDeviceInterface  
 オープンするデバイスのインターフェース GUID を指定します。

\*FoundHandle  
 オープンするデバイスのハンドルを指定します。

phWinUSBHandle  
 取得したデバイスハンドルを格納するポインタを指定します。

### 【戻り値】

デバイスを Open できた場合 TRUE を返します。  
それ以外は FALSE を返します。

### 【解説】

対応するデバイスが接続されていない場合や、  
すでにオープンされている場合は失敗します。

### 【参考】

PsiCeb2.dll での API 対応 → CebOpenDevice

---

## SUP64\_CloseEx

---

デバイスをクローズします。

SUP64\_OpenEX 関数を使用してオープンしたときには、この関数を使用してください。

```
BOOL SUP64_Usb_Close (  
    HANDLE                FoundHandle,  
    WINUSB_INTERFACE_HANDLE hWinUSBHandle  
);
```

### 【パラメータ】

HANDLE                    オープンしたときに取得したデバイスのハンドルを指定します。  
hWinUSBHandle            クローズするデバイスのハンドルを指定します。

### 【戻り値】

Close が成功した場合 TRUE を返します。  
それ以外は FALSE を返します。

### 【解説】

オープンしているデバイスが抜かれた時にはそのタイミングで必ずクローズを行って下さい。

### 【参考】

PsiCeb2.dll での API 対応 → CebCloseDevice

## SUP64\_Usb\_Open

---

最初に見つかった 1 台の USB デバイスをオープンします。

新規に利用する場合には、SUP64\_OpenEX 関数を使用してください。

※1 台のホスト PC に複数台のボードを接続している場合には、SUP64\_Find\_Device()、SUP64\_Usb\_Open\_Handle()、SUP64\_Get\_Device\_Handle()を使用してください。

```
BOOL SUP64_Usb_Open(  
    GUID                                guidDeviceInterface,  
    PWINUSB_INTERFACE_HANDLE phWinUSBHandle  
);
```

### 【パラメータ】

guidDeviceInterface  
オープンするデバイスのインターフェース GUID を指定します。

phWinUSBHandle  
取得したデバイスハンドルを格納するポインタを指定します。

### 【戻り値】

デバイスを Open できた場合 TRUE を返します。  
それ以外は FALSE を返します。

### 【解説】

対応するデバイスが接続されていない場合や、  
すでにオープンされている場合は失敗します。

### 【参考】

PsiCeb2.dll での API 対応 → CebOpenDevice

---

## SUP64\_Usb\_Close

---

デバイスをクローズします。

SUP64\_Usb\_Open 関数でオープンした場合、この関数ではクローズできないバグがあります。できるだけ、SUP64\_OpenEx、SUP64\_CloseEx 関数の組み合わせを利用してください。

```
BOOL SUP64_Usb_Close (  
    WINUSB_INTERFACE_HANDLE hWinUSBHandle  
);
```

### 【パラメータ】

hWinUSBHandle                      クローズするデバイスのハンドルを指定します。

### 【戻り値】

Close が成功した場合 TRUE を返します。  
それ以外は FALSE を返します。

### 【解説】

オープンしているデバイスが抜かれた時にはそのタイミングで必ずクローズを行って下さい。

### 【参考】

PsiCeb2.dll での API 対応 → CebCloseDevice

## SUP64\_Reg\_Read

任意のレジスタから値を読み込みます。

```

BOOL SUP64_Reg_Read (
    WINUSB_INTERFACE_HANDLE    hWinUSBHandle,
    DWORD                      adrs,
    DWORD                      range,
    UINT64                     *rd
);

```

### 【パラメータ】

hWinUSBHandle

動作を実行するデバイスのハンドルを指定します。

adrs

対象となるレジスタ番号を指定します。

0~63 または 0~16,383 まで設定できます。(設定範囲はボードにより異なります)

range

ビット幅を指定します。指定する値は次のいずれかになります。

SUP64\_RANGE\_8BIT                    レジスタ・ビット幅が8ビット

SUP64\_RANGE\_16BIT                  レジスタ・ビット幅が16ビット

SUP64\_RANGE\_32BIT                  レジスタ・ビット幅が32ビット

SUP64\_RANGE\_64BIT                  レジスタ・ビット幅が64ビット

rd

読み込んだ値を受け取るバッファへのポインタを指定します。

### 【戻り値】

レジスタ読み込みが成功した場合 TRUE を返します。

それ以外は FALSE を返します。

### 【参考】

PsiCeb2.dll での API 対応 → CebRegisterRead

### 【注意】

vreq\_Smart-USB-Plus.pdf 資料の bRequest=B0H 部分を参照してください。

## SUP64\_Reg\_Write

任意のレジスタに値を書き込みます。

```

BOOL SUP64_Reg_Write (
    WINUSB_INTERFACE_HANDLE    hWinUSBHandle,
    DWORD                      adrs,
    DWORD                      range,
    UINT64                     wr
);

```

### 【パラメータ】

**hWinUSBHandle**  
動作を実行するデバイスのハンドルを指定します。

**adrs**  
対象となるレジスタ番号を指定します。  
0~63 または 0~16,383 まで設定できます。(設定範囲はボードにより異なります)

**range**  
ビット幅を指定します。指定する値は次のいずれかになります。

|                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| SUP64_RANGE_8BIT  | レジスタ・ビット幅が8ビット  |
| SUP64_RANGE_16BIT | レジスタ・ビット幅が16ビット |
| SUP64_RANGE_32BIT | レジスタ・ビット幅が32ビット |
| SUP64_RANGE_64BIT | レジスタ・ビット幅が64ビット |

**wd**  
書き込むデータを指定します。

### 【戻り値】

レジスタ書き込みが成功した場合 TRUE を返します。  
それ以外は FALSE を返します。

### 【参考】

PsiCeb2.dll での API 対応 → CebRegisterWrite

### 【注意】

vreq\_Smart-USB\_Plus.pdf 資料の bRequest=B0H 部分を参照してください。

## SUP64\_GPIF\_Reg\_Wait

---

SUP64\_GPIF\_Reg\_Write や SUP64\_GPIF\_Reg\_Read で行う制御で、制御線とデータ線のタイミングを制御します。

```
BOOL SUP64_GPIF__Wait (  
    WINUSB_INTERFACE_HANDLE hWinUSBHandle,  
    WORD dir,  
    BYTE num  
);
```

### 【パラメータ】

**hWinUSBHandle**  
動作を実行するデバイスのハンドルを指定します。

**dir**  
レジスタアクセスの RD/WR を指定します。  
1: WR  
0: RD

**num**  
タイミング制御したいクロック数を指定します。0~255 まで。

### 【戻り値】

情報取得が成功した場合 TRUE を返します。  
それ以外は FALSE を返します。

### 【参考】

PsiCeb2.dll での API 対応 → なし



## SUP64\_Data\_Write

---

メモリに可変長のデータを書き込みます。

```

BOOL SUP64_Data_Write (
    WINUSB_INTERFACE_HANDLE    hWinUSBHandle,
    BYTE                        range,
    DWORD                       FileSize,
    LPVOID                      pBuffer
);

```

### 【パラメータ】

hWinUSBHandle

動作を実行するデバイスのハンドルを指定します。

range

ビット幅を指定します。

SUP64\_RANGE\_8BIT

メモリのバス幅が8ビット

SUP64\_RANGE\_16BIT

メモリのバス幅が16ビット

SUP64\_RANGE\_32BIT

メモリのバス幅が32ビット

SUP64\_RANGE\_64BIT

メモリのバス幅が64ビット

FileSize

書き込むバイト数を指定します。

pBuffer

書き込むデータが入ったバッファのポインタを指定します。

### 【戻り値】

データ書き込みが成功した場合 TRUE を返します。

それ以外は FALSE を返します。

### 【参考】

PsiCeb2.dll での API 対応 → CebDataWrite

## SUP64\_Data\_Read

---

メモリから可変長のデータを読みだします。

```

BOOL SUP64_Data_Read (
    WINUSB_INTERFACE_HANDLE hWinUSBHandle,
    BYTE                    range,
    DWORD                   FileSize,
    LPVOID                  pBuffer
);

```

### 【パラメータ】

hWinUSBHandle

動作を実行するデバイスのハンドルを指定します。

range

ビット幅を指定します。

SUP64\_RANGE\_8BIT

メモリのバス幅が8ビット

SUP64\_RANGE\_16BIT

メモリのバス幅が16ビット

SUP64\_RANGE\_32BIT

メモリのバス幅が32ビット

SUP64\_RANGE\_64BIT

メモリのバス幅が64ビット

FileSize

読み出すバイト数を指定します。

pBuffer

読み出すデータが格納されるバッファのポインタを指定します。

### 【戻り値】

データ読み込みが成功した場合 TRUE を返します。

それ以外は FALSE を返します。

### 【参考】

PsiCeb2.dll での API 対応 → CebDataRead

## SUP64\_Get\_BoardInfo

---

ボードの情報を取得します。

```
BOOL SUP64_Get_BoardInfo (  
    WINUSB_INTERFACE_HANDLE hWinUSBHandle,  
    DWORD Sel,  
    DWORD *ID  
);
```

### 【パラメータ】

hWinUSBHandle

動作を実行するデバイスのハンドルを指定します。

Sel

SUP64\_BOARDINFO\_FIRMID ファームウェアバージョン情報を選択します。

SUP64\_BOARDINFO\_CHIPVER チップリビジョン情報を選択します。

SUP64\_BOARDINFO\_PID プロダクト IC 情報を選択します。

SUP64\_BOARDINFO\_SPEED PC とボードの USB 接続スピード情報を選択します。

ID

Sel パラメータで設定した情報が格納されるポインタを指定します。

### 【戻り値】

情報取得が成功した場合 TRUE を返します。

それ以外は FALSE を返します。

### 【参考】

PsiCeb2.dll での API 対応 → なし

## SUP64\_Usb\_Config

---

FPGA をコンフィグします。

```

BOOL SUP64_Usb_Config (
    WINUSB_INTERFACE_HANDLE    hWinUSBHandle,
    TCHAR                      *PathName,
    bool                        Mode,
    bool                        Swap,
    bool                        Encrypt
);

```

### 【パラメータ】

hWinUSBHandle

動作を実行するデバイスのハンドルを指定します。

PathName

FPGA コンフィグファイルを指定します

Mode

以下 2 つの中から、アルテラまたはザイリンクスを指定します。  
 SUP64\_CONFIG\_MODE\_ALTERA      アルテラの場合  
 SUP64\_CONFIG\_MODE\_XILINX      ザイリンクスの場合

Swap

ザイリンクスデバイス(Spartan6)時に指定します。

Encrypt

ザイリンクスデバイス(Spartan6)時、暗号化したコンフィグファイルを用いるときに指定します。

### 【戻り値】

FPGA コンフィグが成功した場合 TRUE を返します。  
 それ以外は FALSE を返します。

### 【参考】

PsiCeb2.dll での API 対応 → なし

## SUP64\_GPIF\_Set\_Wave

メモリ転送時のモードを設定します。

使用できるボードは以下の製品です。

CX-Card2 (020 系のみ), SX-Card3 (0202 以降), SX-USB3 (0202 以降), ASUP-M3, CX-Card4, SX-Card6

```

BOOL SUP64_GPIF_Set_Wave (
    WINUSB_INTERFACE_HANDLE    hWinUSBHandle,
    word                        dir,
    word                        sel,
);

```

### 【パラメータ】

hWinUSBHandle  
動作を実行するデバイスのハンドルを指定します。

dir  
RD/WR 方向を指定します。 1:WR、 0:RD

SUP64\_GPIFWAVE\_DIR\_READ: RD  
SUP64\_GPIFWAVE\_DIR\_WRITE: WR

sel  
転送モードを指定します。 1: Word 転送    0:Burst 転送 (デフォルト)

SUP64\_GPIFWAVE\_MODE\_BURST:    Burst 転送(デフォルト)  
SUP64\_GPIFWAVE\_MODE\_WORD:    Word 転送

### 【戻り値】

設定が成功した場合 TRUE を返します。  
それ以外は FALSE を返します。

### 【参考】

PsiCeb2.dll での API 対応 → なし

---

## SUP64\_I2c\_Read

---

USB 制御 IC に接続する I2C ポートを制御します。

```
BOOL SUP64_I2c_Read (  
    WINUSB_INTERFACE_HANDLE hWinUSBHandle,  
    DWORD DevAdrs,  
    DWORD RegAdrs,  
    BYTE *Rd  
);
```

### 【パラメータ】

**hWinUSBHandle**  
動作を実行するデバイスのハンドルを指定します。

**DevAdrs**  
I2C バスに接続するスレーブデバイスのデバイスアドレスを指定します。

**RegAdrs**  
I2C バスに接続するスレーブデバイスのレジスタアドレスを指定します。

**Rd**  
読み出すデータのポインタを指定します。

### 【戻り値】

I2C のデータ読み込みが成功した場合 TRUE を返します。  
それ以外は FALSE を返します。

### 【参考】

PsiCeb2.dll での API 対応 → なし

## SUP64\_I2c\_Write

---

USB 制御 IC に接続する I2C ポートを制御します。

```
BOOL SUP64_I2c_Write (  
    WINUSB_INTERFACE_HANDLE hWinUSBHandle,  
    DWORD DevAdrs,  
    DWORD RegAdrs,  
    BYTE Wd  
);
```

### 【パラメータ】

hWinUSBHandle

動作を実行するデバイスのハンドルを指定します。

DevAdrs

I2C バスに接続するスレーブデバイスのデバイスアドレスを指定します。

RegAdrs

I2C バスに接続するスレーブデバイスのレジスタアドレスを指定します。

Wd

RegAdrs で指定したレジスタに書込むデータを指定します。

### 【戻り値】

I2C データ書き込みが成功した場合 TRUE を返します。  
それ以外は FALSE を返します。

### 【参考】

PsiCeb2.dll での API 対応 → なし

---

## SUP64\_Get\_FPGA\_Temp

---

ボード上の FPGA 温度情報を取得します。  
対応ボード: VX-USB2、System-SX2、SX-USB3

```
BOOL SUP64_Get_FPGA_Temp (  
    WINUSB_INTERFACE_HANDLE hWinUSBHandle,  
    WORD Sel,  
    WORD *Temp  
);
```

### 【パラメータ】

hWinUSBHandle  
動作を実行するデバイスのハンドルを指定します。

Sel

Temp  
FPGA の温度情報データが返されるポインタを指定します。

### 【戻り値】

情報取得が成功した場合 TRUE を返します。  
それ以外は FALSE を返します。

### 【参考】

PsiCeb2.dll での API 対応 → なし



## SUP64\_Suspend

---

ボード上の FPGA のサスペンド状態を制御します。  
対応ボード: SX-Card6、SX-Card3

```
BOOL SUP64_Get_FPGA_Temp (  
    WINUSB_INTERFACE_HANDLE hWinUSBHandle,  
    WORD mode  
);
```

### 【パラメータ】

hWinUSBHandle  
動作を実行するデバイスのハンドルを指定します。

mode  
0 :Suspend 状態を解除  
1 :Suspend 状態に設定

### 【戻り値】

処理が成功した場合 TRUE を返します。  
それ以外は FALSE を返します。

### 【参考】

PsiCeb2.dll での API 対応 → なし

## SUP64\_GPIO\_Dir\_Read

---

USB 制御 IC の GPIO を制御します。各ポートの入力、出力を切り替えます。  
対応ボード: USB 制御 IC の GPIO が利用できるボード

```
BOOL SUP64_GPIO_Read (  
    WINUSB_INTERFACE_HANDLE hWinUSBHandle,  
    WORD port,  
    WORD dir  
);
```

### 【パラメータ】

hWinUSBHandle  
動作を実行するデバイスのハンドルを指定します。

port

SUP64\_GPIO\_PORTA : Port A  
SUP64\_GPIO\_PORTC : Port C  
SUP64\_GPIO\_PORTE : Port E

dir

SUP64\_GPIO\_DIRIN: 入力 (IN)  
SUP64\_GPIO\_DIROUT: 出力 (OUT)

### 【戻り値】

処理が成功した場合 TRUE を返します。  
それ以外は FALSE を返します。

### 【参考】

PsiCeb2.dll での API 対応 → なし

---

## SUP64\_GPIO\_Read

---

USB 制御 IC の GPIO を制御します。  
対応ボード: USB 制御 IC の GPIO が利用できるボード

```
BOOL SUP64_GPIO_Read (  
    WINUSB_INTERFACE_HANDLE hWinUSBHandle,  
    WORD port,  
    BYTE *rd  
);
```

### 【パラメータ】

hWinUSBHandle  
動作を実行するデバイスのハンドルを指定します。

port

SUP64\_GPIO\_PORTA : Port A  
SUP64\_GPIO\_PORTC : Port C  
SUP64\_GPIO\_PORTE : Port E

rd

読み込むデータが格納されるポインタを指定します。

### 【戻り値】

情報取得が成功した場合 TRUE を返します。  
それ以外は FALSE を返します。

### 【参考】

PsiCeb2.dll での API 対応 → なし

---

## SUP64\_GPIO\_Write

---

USB 制御 IC の GPIO を制御します。  
対応ボード: USB 制御 IC の GPIO が利用できるボード

```
BOOL SUP64_GPIO_Read (  
    WINUSB_INTERFACE_HANDLE hWinUSBHandle,  
    WORD port,  
    BYTE Wd  
);
```

### 【パラメータ】

hWinUSBHandle  
動作を実行するデバイスのハンドルを指定します。

port

SUP64\_GPIO\_PORTA : Port A  
SUP64\_GPIO\_PORTC : Port C  
SUP64\_GPIO\_PORTE : Port E

Wd  
書き込むデータを指定します。

### 【戻り値】

情報取得が成功した場合 TRUE を返します。  
それ以外は FALSE を返します。

### 【参考】

PsiCeb2.dll での API 対応 → なし

## SUP64\_Reg\_WriteEx

任意のレジスタに値を書き込みます。

対応ボード: SX-USB2 (0204 以降), CX-Card2(0204 以降), VX-USB2(0201 以降), SX-USB3 (0204 以降), SX-Card3(0205 以降), ASUP-M3(0202 以降), CX-Card4(0202 以降), SX-Card6(0201 以降)

```

BOOL SUP64_Reg_WriteEX (
    WINUSB_INTERFACE_HANDLE    hWinUSBHandle,
    DWORD                       adrs,
    DWORD                       size,
    BYTE                        *wd
);

```

### 【パラメータ】

hWinUSBHandle  
動作を実行するデバイスのハンドルを指定します。

adrs  
0~1023(D) まで設定できます。

size  
1 バイトから 64 バイトまで指定できます。

\*wd  
書き込むデータ・バッファへのポインタを指定します。

### 【戻り値】

情報取得が成功した場合 TRUE を返します。  
それ以外は FALSE を返します。

### 【参考】

PsiCeb2.dll での API 対応 → なし

### 【注意】

vreq\_Smart-USB\_Plus.pdf 資料の bRequest=C6H 部分を参照してください。

## SUP64\_Reg\_ReadEx

任意のレジスタから値を読み出します。

対応ボード: SX-USB2 (0204 以降), CX-Card2(0204 以降), VX-USB2(0201 以降), SX-USB3 (0204 以降), SX-Card3(0205 以降), ASUP-M3(0202 以降), CX-Card4(0202 以降), SX-Card6(0201 以降)

```

BOOL SUP64_Reg_RaedEX (
    WINUSB_INTERFACE_HANDLE    hWinUSBHandle,
    DWORD                      adrs,
    DWORD                      size,
    BYTE                       *rd
);

```

### 【パラメータ】

**hWinUSBHandle**  
動作を実行するデバイスのハンドルを指定します。

**adrs**  
0~1023(D) まで設定できます。

**size**  
1 バイトから 64 バイトまで指定できます。

**\*rd**  
読み出すデータ・バッファへのポインタを指定します。

### 【戻り値】

情報取得が成功した場合 TRUE を返します。  
それ以外は FALSE を返します。

### 【参考】

PsiCeb2.dll での API 対応 → なし

### 【注意】

vreq\_Smart-USB\_Plus.pdf 資料の bRequest=C6H 部分を参照してください。

## SUP64\_Find\_Device

ホスト PC に接続しているすべての USB デバイスを順番にオープン処理後、FPGA 回路に実装した任意のハードウェアレジスタを読み出し、指定した INDEX 値と一致する USB デバイスのデバイス・ハンドルを取得します。

この関数は、ホスト PC に複数台のボード (USB デバイス) を接続するときに使用します。ホスト PC に接続しているボードの台数分、この関数を繰り返してください。

複数台のすべてのボードは、PC に接続する前に FPGA コンフィグが完了している必要があります (ボード上のコンフィグ ROM を利用して FPGA ブートしてください)。

```

BOOL SUP64_Find_Device (
    GUID                guidDeviceInterface,
    DWORD               adrs,
    DWORD               id,
    HANDLE              *FoundHandle
);

```

### 【パラメータ】

guidDeviceInterface  
オープンするデバイスのインターフェース GUID を指定します。

adrs  
ボードを識別するためのレジスタ・アクセスを実施する際に必要なレジスタアドレスを指定します。

id  
検索する INDEX 値を指定します。

\*FoundHandle  
見つかった USB デバイスのハンドル・バッファへのポインタを指定します。

### 【戻り値】

指定した INDEX 値が見つかった場合 TRUE を返します。  
それ以外は FALSE を返します。

### 【参考】

PsiCeb2.dll での API 対応 → CebFindDevice

## SUP64\_Get\_Device\_Handle

---

ホスト PC に接続しているすべての USB デバイス(ボード)の台数(個数)とハンドルを取得します。  
SUP64\_Find\_Device 関数は、複数台のボード上のすべての FPGA をコンフィグした状態で使用する関数ですが、この関数では FPGA が未コンフィグの状態の場合に使用します。

```
BOOL SUP64_Get_Device_Handle(  
    GUID                guidDeviceInterface,  
    DWORD               *num,  
    HANDLE              *FoundHandle  
);
```

### 【パラメータ】

- guidDeviceInterface  
    オープンするデバイスのインターフェース GUID を指定します。
- \*num  
    指定された GUID を持つ USB デバイスの台数へのポインタを指定します。
- \*FoundHandle  
    指定された GUID を持つ USB デバイス・ハンドルへのポインタを指定します。

### 【戻り値】

情報取得が成功した場合 TRUE を返します。  
それ以外は FALSE を返します。

### 【使用上の注意事項】

1 台のホスト PC に接続する複数台のボードは、すべて同じ FPGA を搭載したボードにしてください。制御が簡単になります。

### 【参考】

PsiCeb2.dll での API 対応 → CebGetDeviceID



---

## SUP64\_Usb\_Open\_Handle

---

SUP64\_Get\_Device\_Handle や SUP64\_Find\_Device 関数により取得した USB デバイス・ハンドルを指定して、USB デバイスをオープン処理します。

```
BOOL SUP64_Usb_Open_Handle(  
    HANDLE FoundHandle  
    PWINUSB_INTERFACE_HANDLE phWinUSBHandle  
);
```

### 【パラメータ】

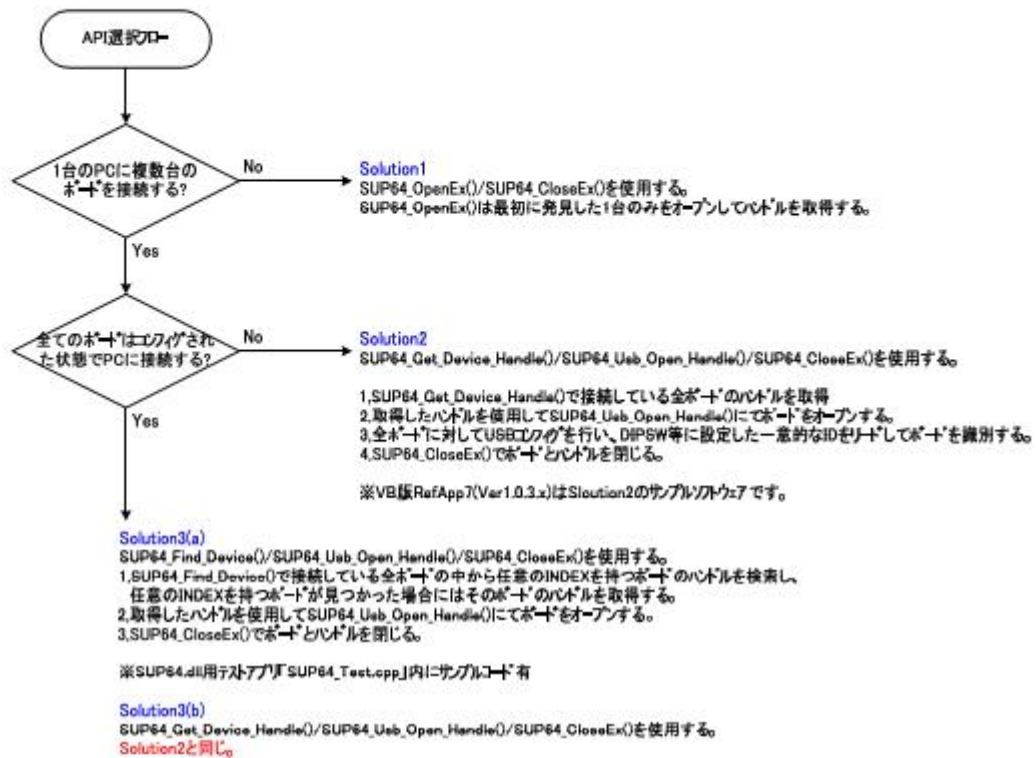
FoundHandle  
オープンするデバイスのハンドルを指定します。

phWinUSBHandle  
取得したデバイスハンドルを格納するポインタを指定します。

### 【戻り値】

情報取得が成功した場合 TRUE を返します。  
それ以外は FALSE を返します。

## API 選択のポイント



---

## 削除した API

---

PsiCeb2.sys デバイスドライバを利用して制御ソフトウェアをカスタマイズしているユーザ向けの情報です。

PsiCeb2.sys デバイスドライバを WinUSB.sys デバイスドライバに入れ替えた場合、以下の API は利用できなくなりますのでご注意ください。

### **CebSetStartRegister**

【PsiCeb2.dll での API 対応】 → SUP64\_Reg\_Write に置き換え

### **CebSetEndRegister**

【PsiCeb2.dll での API 対応】 → SUP64\_Reg\_Write に置き換え

### **CebCheckMyDevice**

### **CebInitLog**

### **CebGetLog**

### **CebGetTransferTime**

### **CebControlTransfer**

### **CebGetDeviceID** (SUP64\_Usb\_Open に包含)

### **CebSetLog**

### **CebLastTransferTime**

### **CebSetTimeOut**

### **CebSetSize**

### **CebInterruptTransfer**